

転座腎細胞癌の実態把握と解析—多施設共同研究

1. 研究の対象

2001年1月から2020年11月までの間に防衛医大において腎細胞癌に対して腎摘除または腎部分切除術をうけられた方で、病理組織診断で転座腎細胞癌が疑われる患者さん

2. 研究目的・方法

転座腎細胞癌はWHO分類で新たに定義された腎臓癌です。遺伝子の発現を調節するTFE3又はTFEBという分子の異常が腎臓の細胞に起こることで、この転座腎細胞癌が起こります。転座腎細胞癌は成人腎細胞癌例のおよそ1~5%とされており、きわめて発生頻度の低い腎臓癌です。転座腎細胞癌は頻度が低いうえに、確定診断に特殊な組織診断方法(FISH又は免疫染色)が必要とされます。そのために転座腎細胞癌の詳しい性質はまだ完全には把握されていません。一般には若年者に多く悪性度が高い傾向があると言われていますが、進行した転座腎細胞癌に対して最も有効な治療方法がどのようなものかというコンセンサスも、まだ確立されていません。このように症例数が少なく、病理組織診断がその診断に重要なウエイトを占める転座腎細胞癌の全容を明らかにするために、熊本大学では全国の大学や病院と協力して多施設共同研究を行っています。

具体的な研究内容は、臨床経過や病理組織診断から転座腎細胞癌が疑わしい症例及び転座腎細胞癌と診断された症例の病理組織標本を、腎臓癌の診断を専門とする病理医が再評価します。病理組織診断で転座腎細胞癌と診断された病理組織標本を、さらに詳細に検査(免疫組織染色、FISH)し、併せて様々な臨床情報(年齢、性別、ステージ、悪性度、血液検査データ、画像検査所見、臨床経過、治療方法、予後等)を解析し、我が国における転座腎細胞癌の実態を解明します。本研究を行うことにより、転座腎細胞癌のより良い診断方法や治療方法の確立に役立てます。

病理組織標本及び臨床情報は全て匿名化した後に解析を行い、個人情報が開示されることは一切ありません。

本研究は国から交付された研究費(科学研究費)の協力を得て行われる予定ですが、費用の出資者とは無関係に公正に行われます。本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の承認を得ております。今後も、当該研究経過を熊本大学生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

防衛医大での研究資金源は講座研究費と防衛医学振興会費のみですので、利益相反はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、ステージ、病理学的所見、病理番号、血液検査データ、

画像検査所見、臨床経過、治療方法、予後等

(情報については匿名化し、個人の特特定はできないようにして研究に使用します。)

試料：手術で摘出した組織のパラフィン包埋切片

4. 外部への試料・情報の提供

熊本大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、防衛医科大学校泌尿器科学講座の朝隈純一が保管・管理します。熊本大学への病理組織スライドおよび未染色切片スライドの提供は郵送で行います。

5. 研究組織

腎癌研究会参加施設（下記に列举）

北海道大学 泌尿器科：篠原 信雄

日本医科大学 泌尿器科：木村 剛、

東京医科歯科大学 泌尿器科：藤井 靖久

大阪大学 泌尿器科：野々村 祝夫

札幌医科大学 泌尿器科：舩森 直哉

東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科：近藤 恒徳

慶應義塾大学 泌尿器科：大家 基嗣

神奈川県立がんセンター 泌尿器科：岸田 健

昭和大学 泌尿器科：前田 佳子

京都府立医科大学 泌尿器科：本郷 文弥

新潟大学 泌尿器科：富田 善彦

山口大学 泌尿器科：松山 豪泰

順天堂大学 泌尿器科：堀江 重郎

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器科：小山 政史

帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科：納谷 幸男

近畿大学 泌尿器科：植村 天受

徳島大学 泌尿器科：高橋 正幸

岡山医療センター 泌尿器科：津島 知靖

北海道がんセンター 泌尿器科：永森 聡

防衛医科大学校 泌尿器科：伊藤 敬一、浅野友彦

京都大学 泌尿器科：小川 修

岩手医科大学 泌尿器科：小原 航

獨協医科大学 泌尿器科：釜井 隆男
国立がん研究センター中央病院 先端医療科：北野 滋久
富山大学 泌尿器科：北村 寛
国立国際医療研究センター病院 泌尿器科：久米 春喜
伊勢崎市民病院：小林 幹男
琉球大学 泌尿器科：斎藤 誠一
愛知医科大学 泌尿器科：住友 誠
松江市立病院 泌尿器科：瀬島 健裕
がん研究会有明病院 総合腫瘍科：高橋 俊二
佐賀県医療センター好生館 泌尿器科：徳田 倫章
横浜市立大学 泌尿器科：中井川 昇
京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター：中村 英二郎
岡山大学 泌尿器科：那須 保友
秋田大学 泌尿器科：羽瀨 友則
千葉県がんセンター 泌尿器科：深沢 賢
虎の門病院 臨床腫瘍科：三浦 裕司
藍野大学 臨床工学科：水谷 陽一
泌尿器科宮尾クリニック：宮尾 則臣
浜松医科大学 泌尿器科：三宅 秀明
神戸大学 泌尿器科：山口 雷藏
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 泌尿器科：山田 裕紀
公立玉名中央病院 泌尿器科：和田 孝浩
熊本大学 国際先端医学研究機構：馬場理也
九州大学 泌尿器科：江藤正俊
熊本大学 泌尿器科：神波大己
慶應義塾大学 放射線診断科：陣崎 雅弘
横浜市立大学 分子病理：古屋充子、加藤生真
東京女子医科大学 病理診断科：長嶋洋治
愛知医科大学病院 病理診断科：都築豊徳
慶應義塾大学医学部 病理診断部：三上修治

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 4

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：防衛医科大学校泌尿器科学講座 伊藤敬一
359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
04-2995-1511（内線 2351）